

2014年5月3日

皆様へ

前略 「おはようさんどす！」 GWは如何お過ごしでしょうか？ またまた、私のお芝居のご案内で失礼します。

日時：6月21日（土）13時、19時

22日（日）15時

私は、Ma組のほうです。

場所：キンケロ・シアター（座席がゆったりとした劇場です）

東急東横線、東京メトロ・日比谷線 「中目黒」下車8分（改札出て左）

原作：北條秀司 演目：太夫（こったい）さん 演出：得丸伸二（文学座）

お話は、終戦後まもなくの京都の遊里・島原の「宝永楼」という妓楼での人情物語。私は、そこに入り出る怪しげな一見客と幫間（太鼓持ち）「よね七」の二役を演じます。せっかくの機会ですから、今回は京都弁を完璧にマスターしようと思ひまして、通常の稽古以外に自腹を切って専門家に方言指導をお願いして、頑張っています。「よね七」役では粋な着物姿になりますので、どうぞお楽しみに！

お芝居は、くすっと笑えて、ほろっして、そして泣けます。北條先生の名作で、演技の上手い下手は別にしても、セット、小道具、衣装等もお楽しみ頂けると思ひます。

土日の2日だけの公演となりますが、ご興味がおありでしたら下記アドレス（PCから送信される場合はPCアドレスの方へ。或いは、留守電へご伝言を）、「よろしゅうおたの申します！」。

草々

坂本秀昭

leonardo2001-jp@docomo.ne.jp

sakamoto-hi@nhk-ep.co.jp

留守電（自宅）：03-3427-6511

追伸 劇場は目黒川の直ぐそばです。この界隈には、おしゃれなレストランや飲み屋が点在しています。インターネットで検索されて、ご観劇の折には近辺を散策されて、お立ち寄りになるもの一考ではないかと思ひます。

ホステスさん

ごっつい

キンケロシアター

TBSスタジオ★クラブ Vol. 13

2014. 6. 21-22



自らの不幸を、生きる力に変えていく
 女達の姿は、混沌とした現代を生き抜く
 ヒントを与えてくれる。

こったい
太夫さん

作：北条秀司
 演出：得丸伸二



【ストーリー】

京都の島原遊廓にある宝永楼は、三百年の伝統を誇る老舗であるが、戦後の混乱の中で新しい価値観の台頭に大きな転換点を迫られていた。玉袖太夫は共産党員の登楼客にそそのかされ、太夫の待遇改善の要求書を、女将のおえいにつきつけた。兄と称する安吉に伴われた喜美子が、太夫志願にやってくる。ところが安吉は兄ではなく、妊娠した喜美子売りとばしに来たことがわかる。子供を産んだ喜美子は、おえいの熱心な指導を受け太夫としての修練をするが、なかなか上達できないばかりか、古株の太夫たちにいじめられる。島原では戦後初めての太夫道中が再興されて、喜美子も道中を勤めることになる。そこへ喜美子を身請けしたいという社長が現れる。

【スタッフ】

美術：得丸伸二
 照明：賀澤礼子
 音響：板谷雄月
 舞台監督：古屋治男
 制作：TBスタジオ

Ma組	【キャスト】	Bp組
三浦照美	おえい	大林弘子
比留間千恵	喜美太夫	畠田ハタコ
大藤喜美子	深雪太夫	秋津今日子
西条結子	九重太夫	宮内佳代子
杏咲美千子	小車太夫	浅井要美
蓼科ユキ	玉袖太夫	古屋直子
坂部昌子	初音太夫	後田真理
行友洋子	美吉野太夫	芦澤董志映
石田暁子	お初	矢部真弓
太田陽子	お千代	竹野朱美
石田さよこ	お倉	宇佐見葦
鯨井和幸	善助	瀧本忠生
信田参平	安吉	向江勝弘
坂本秀昭	よね七	阿部義高
野澤遵宜	うどん屋	田邊昭雄

Bp組：文学座プラチナクラスの卒業生を主体に編成

Ma組：明治座アカデミーの卒業生で編成

2014年 6月21日（土）・22日（日）

キンケロ・シアター

	21（土）	22（日）
12:00		Bp
13:00	Ma	
15:00		Ma
16:00	Bp	
18:00		Bp
19:00	Ma	

キンケロ・シアター
 〒153-0042 東京都目黒区青葉台1丁目15-11
 TEL 03-3496-1138

キンケロ・シアター

ご予約・お問合せ：info@tb-studio.net
 TBスタジオ tel 03(6903)9335

入場料（日時指定・自由席）**2,500円**（税込み）

*開場は開演の30分前です。*駐車場はございません。
 *公演日時によって出演者が異なります。

体験してみませんか？ **TBスタジオ** で検索！

敗戦で全てを失った日本が、朝鮮戦争特需で復活した歴史は、現在の状況と似ている。戦争を起こすのは男で、弱い男ほど破壊に走る。

TBスタジオはシニア演劇を支援します。楽しい仲間と演劇の基礎を学びながら感動的な舞台を造る醍醐味を